指導案（試案）・中学校第3学年

わたしたちとスクリーンタイム ～自分の意見を理由とともに伝え合おう～

外国語／全8時間（本時は第5時）／本時 50分

この指導案の特色



中教審の審議まとめ（2026年10月5日）で示された、中学校の「社会的な話題」を生徒が自分と関連付けて捉えられる「身近な社会的な話題」とする方向性と、発達の段階に応じた「AIの適切な活用」を学習指導要領に位置付ける方向性を先取りした試案である。次期学習指導要領はまだ告示前であり、本案は審議まとめの方向性をふまえた一つの例である。生成AIは自分の英文を見直すための道具として使い、出力を吟味させたうえで、最後は人間同士の意見交換につなげる。

次期の方向性	この指導案での具体化
中学校の「社会的な話題」を「身近な社会的な話題」とし、生徒が自分と関連付けて捉えられるものを中心に扱う P283 資料(外㉕)P25 資料(外㉚)P30	資料編で例示されているスクリーンタイムを話題にし、生徒自身の1日の使い方の記録から出発する。中学生である自分たちにできる工夫を提案するという形で、自分ごととして意見を形成させる。
自分のことや日本のことに加え、自分の意見を言えるよう話題や活動を充実する P278 P281 資料(外㉕)P25	単元を通して「意見→理由→例」の型で意見を述べ、友達の意見を受け止めて質問したり、自分の考えを付け加えたり修正したりする場面を繰り返し設ける。
発達の段階に応じたAIの適切な活用（出力を鵜呑みにせず吟味する、人間同士のコミュニケーションの充実につなげる） P278 P282 P285	生成AIには英文を一から作らせるのではなく、自分で書いた下書きの別の言い方を示させ、「意味が同じか」「自分で説明できる表現か」「相手に伝わるか」の3観点で吟味して、採用するかどうかを理由とともに決める。吟味した表現は、その後のグループでの意見交換で使う。
家庭学習の課題を、単にAI翻訳を提出すれば済むものにしない P282	家庭学習は「授業で聞いた友達の意見を一つ選び、それに対する自分の考えを1分で話して録音する」とし、授業での具体的なやり取りに基づく課題にする。
身近な社会的な話題は即興のやり取り・発表の対象とせず、事実や考えを整理して伝え合う（内容のイメージ） 資料(外㊴)P39 資料(外㊹)P44	本時の意見交換は、前時までに作った意見メモ（キーワード）を見ながら行う。原稿の読み上げにはせず、メモを手がかりに相手を見て話すよう指導する。

1 単元名・単元の目標

単元名：わたしたちとスクリーンタイム ～自分の意見を理由とともに伝え合おう～

（全8時間（本時は第5時））

単元の目標：【コミュニケーションの目的・場面・状況】生徒会が企画する「スマホ・タブレットとのつきあい方」の学年への提案づくりに生かすために（目的）、中学生にとってよいスクリーンタイムの使い方について、クラスの仲間やALTと意見を交換する場面で（場面）、考えの異なる相手の意見を受け止めながら、準備したメモを基に伝え合う（状況）。【目標】①意見や理由を述べる表現（I think (that) ~. / because ~ / should / If ~, ~.）の意味や使い方を理解し、自分の意見と理由を話したり書いたりする技能を身に付ける。②よいスクリーンタイムの使い方について、読んだり聞いたりした情報や友達の考えを基に、自分の意見と理由を整理し、相手の考えを受け止めながら伝え合う。③スクリーンタイムという身近な社会的な話題に関心をもち、多様な考えに触れて自分の考えを広げたり深めたりしながら、相互理解を図ろうとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知識】I think (that) ~. / because ~ / should / If ~, ~. などの意見や理由を述べる表現の意味や使い方を理解している。 【技能】よいスクリーンタイムの使い方について、これらの表現を用いて、自分の意見と理由を話したり書いたりする技能を身に付けている。	学年への提案づくりに生かすために、よいスクリーンタイムの使い方について、読んだり聞いたりした情報や友達の考えを基に、自分の意見と理由を整理し、相手の考えを受け止めながら伝え合っている。	学年への提案づくりに生かすために、よいスクリーンタイムの使い方について、読んだり聞いたりした情報や友達の考えを基に、自分の意見と理由を整理し、相手の考えを受け止めながら伝え合おうとしている。

次期で評価はどうなる？

審議まとめでは、各学校の単元の目標をそのまま評価規準とし、外国語では「内容」に示す5つの領域を「内容のまとまり」として国が評価規準例を示す方

向が示されている（本体P69、本体P285）。本試案は、資料編の中学校の内容イメージにある「聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合う」を手がかりに評価規準を作った（資料編P39(外㊴)、資料編P44(外㊹)）。知識・技能と思考・判断・表現は、第8時の同じパフォーマンステストで見取る（同一のパフォーマンステストで評価することも引き続き可能とされる。資料編P40(外㊵)）。「主体的に学習に取り組む態度」は現行制度でも評価する観点であるため置いた。一方、次期は「学びに向かう力」の3要素（初発の思考や行動、学びの主体的な調整、対話と協働）が思考・判断・表現の過程で継続的に表れた場合に「◯」を付記する方向であり、本単元の意見交換やAIの出力を吟味する場面は、長い期間の中での見取りの機会の一つになりうる（本体P64、本体P66）。生成AIの出力そのものは評価の対象としない。単元計画の◎は記録に残す評価、◯は指導に生かす評価を表す。

3 単元の指導と評価の計画

時	主な学習活動	評価
1	単元のゴール（学年への提案づくりに意見を生かす）を知る。教師が作った「クラスのスクリーンタイム調べ」（架空の集計）についての話を聞き、分かったことを伝え合う。自分の1日の使い方を記録し、英語で短く伝え合う。	◯知：【聞くこと】必要な情報を聞き取っているか（ワークシート）
2	3人の中学生の意見文（自作）を読み、それぞれの意見と理由を捉えて表に整理する。どの意見に近いかを伝え合う。	◯思：【読むこと】意見と理由を捉えているか（ワークシート）
3	【支える活動】I think (that) ~. / because ~ / should / If ~, ~. の意味や使い方を、教師の例や	◯知：表現の意味や使い方を理解しているか（ワークシート・行動観察）

時	主な学習活動	評価
	意見文から確かめ、ペアで短い意見のやり取りに使う。似た働きをもつ既習表現（I agree. / I don't think so. / In my opinion, ~.）を整理する。	
4	自分の意見メモ（意見・理由2つ・例）を作る（メモの段階では日本語のキーワードも可）。意見文の下書きを英語で書く。	○思：意見と理由を整理しているか（意見メモ）
5（本時）	生成AIで下書きの別の言い方を出させて吟味する。4人グループで意見を伝え合い、相手の考えを受け止めて質問したり、自分の考えを付け加えたりする。	○知・思：意見と理由を整理し、相手の考えを受け止めながら伝え合っているか（行動観察・吟味シート）
6	前時に聞いた友達の意見をふまえて意見文を書き直す（どこをなぜ書き直したかも記す）。ペアで読み合い、分かりにくいところを質問し合う。	◎知・思：【書くこと】意見と理由を整理し、まとまりのある文章を書いているか（意見文）
7	ALTを交えた小グループで意見を交換し、学年への提案の材料を整理する。ALTが育った国や地域でのスクリーンタイムについての考え方を聞き、比べる。	○思：【話すこと［やり取り］】相手の考えを受け止めながら伝え合っているか（行動観察）
8	パフォーマンステスト：ALTまたは英語担当教員と1対1で、自分の意見と理由を伝え、相手からの質問や異なる意見に答える（1人3分程度。ALTと英語担当教員の2か所で並行しても30人規模で約45分かかるため、第8時と別の	◎知・思：【話すこと［やり取り］】意見と理由を伝え、相手の質問や意見に応じて伝え合っているか（パフォーマンステスト）／態（現行制度に基づきパフォーマンステストと振り返りで評価する。審議まとめで

時	主な学習活動	評価
	時間の2回に分けて行い、待っている生徒は振り返りと提案文に取り組む）。単元を振り返り、学年への提案を一文で書く。	示された次期の方向では、思考・判断・表現の過程を長い期間で見取る）

4 本時の展開（50分）

本時の目標：中学生のよいスクリーンタイムの使い方について、友達の考えを受け止めながら、自分の意見とその理由を整理して伝え合うことができる。また、生成AIが示した表現を吟味し、自分の伝えたいことに合うものを選ぶことができる。

過程・時間	学習活動	指導上の留意点・支援	評価
導入 5分	挨拶をする。教師の Small Talk（昨夜のスクリーンタイムと、その結果どうなったか）を聞き、内容について簡単な質問に答える。 Last night, I watched videos on my phone for two hours. I went to bed late, and I was very sleepy this morning. What do you think? Should I stop using my phone before bed? 昨夜、先生はスマホで動画を2時間見てしまいました。寝るのが遅くなって、今朝はとても眠かったです。どう思いますか。寝る前はスマホを使うのをやめた方がいいでしょうか。	身近な失敗談として話し、生徒が自分の経験と比べられるようにする。話の最後に問いかけ、本時の話題につなぐ。	

過程・時間	学習活動	指導上の留意点・支援	評価
導入 5分	本時のめあてと流れを確かめる。前時に書いた意見文の下書きと意見メモを読み直し、自分の意見を一文で言えるかペアで確かめる。 Today, you will share your opinions in groups. First, read your draft again. Can you say your opinion in one sentence? 今日はグループで意見を伝え合います。まず下書きを読み直そう。自分の意見を一文で言えるかな。	「今日は、友達の考えを聞いて自分の意見を広げたり深めたりする時間」であることを示す。下書きが途中の生徒には、意見と理由一つだけでよいと伝える。	
展開 12分	【支える活動】生成AIで表現を見直す。①下書きから「うまく言えなかった一文」を選ぶ。②学校で利用を認めている生成AIに、その一文の別の言い方を、中学生が習った英語の範囲で二つ示すよう頼む。③示された表現を「意味が自分の言いたいことと同じか」「自分で説明できる表現か」「相手に伝わるか」の3観点で吟味し、採用・一部採用・不採用を理由とともに吟味シートに書く。 Don't just copy. Check the AI's sentences. Is the meaning the same? Can you explain it? Will your friends understand it? そのまま写さないでね。AIの文を確かめよう。意味は	生成AIは教師の監督下で使用する。事前に、名前や学校名などの個人情報を入力しないこと、出力には誤りや不自然な表現がありうることを確認する。教師が用意した不自然な出力の例を一つ全体で見て、吟味の仕方を示す。端末や生成AIが使えない学級では、教師が事前に用意した出力例を印刷して配る。AIの表現をそのまま写すのではなく、	◯知：表現の意味や使い方を理解して選んでいるか（吟味シート）

過程・時間	学習活動	指導上の留意点・支援	評価
	同じかな。自分で 説明できるかな。友達に 伝わるかな。	自分の言葉で言い 直せるものだけを 使うよう伝える。	
展開 18分	【コミュニケーション活動】 4人グループで意見を 伝え合う。①一人ずつメモを 見ながら意見と理由を伝える （1人1分程度）。②聞き手は 'That's a good point.' などで 受け止め、'Why do you think so?' 'Do you have an example?' などで質問する。 ③全員が話した後、自分と 違う意見に対して、賛成・ 反対・付け加えを伝え合う。 途中で一度止めて中間指導を 行い、メンバーを一部 入れ替えて②③を続ける。 Look at your group members, not your paper. When you disagree, first say 'I see your point.' Then give your idea. 紙ではなく、グループの人を 見て話そう。反対の ときは、まず 'I see your point.' と言ってから自分の 考えを言おう。	原稿を読み上げず、 メモを見て顔を 上げて話すよう声を かける。 中間指導では、 相手の意見を 受け止めてから 自分の考えを言った 例（'I see your point, but ~.'）や、 質問で相手の考えを 引き出した例を 取り上げて 価値付ける。 言いたいことが 英語にならない 生徒には、既習の 表現で言い換える方 法（例を挙げる、 短い文に分ける） を示す。	◯思：相手の 考えを 受け止めながら、 意見と理由を 整理して 伝え合っているか （行動観察）
まとめ 10分	グループで出た意見を 「賛成・条件付き賛成・反対」 に分けて付箋で黒板に貼り、 学年への提案に使えそうな 意見を全体で確かめる。 振り返りシートに、①友達の 意見を聞いて考えが 変わったか・広がったか、	考えが 変わらなかった 場合も、その理由を 書けばよいことを 伝える。家庭学習は 「今日聞いた友達の 意見を一つ選び、 それに対する自分の	

過程・時間	学習活動	指導上の留意点・支援	評価
	②AIの表現を使った・使わなかった理由を書く。 家庭学習の課題を確認する。 Did your ideas change after listening to your friends? Write about it. For homework, choose one friend's opinion and record your answer to it. 友達の意見を聞いて、考えは変わったかな。振り返りに書こう。宿題は、友達の意見を一つ選んで、それに対する自分の考えを録音してきてください。	考えを1分で話して録音する」とし、単にAI翻訳を提出すれば済む課題にしない。	

5 板書計画・準備物

板書

- めあて：友達の考えを受け止めながら、スクリーンタイムについての意見と理由を伝え合おう
- 意見の型：I think (that) ~. ／ I have two reasons. First, ~. Second, ~. ／ For example, ~.
- 受け止める・質問する：That's a good point. ／ I see your point, but ~. ／ Why do you think so? ／ Do you have an example?

教材・準備物

- 意見メモと意見文の下書き（前時までに作成したもの）
- 吟味シート（自分の一文・AIの例・3観点のチェック・採用するかどうかとその理由）
- 生成AIの不自然な出力の例（教師が事前に用意）と、端末が使えない場合の出力例プリント
- 学校で利用を認めている生成AI（教育委員会の方針と情報セキュリティポリシーに基づき、年齢制限などの

- AIの表現を吟味する3つの観点：①意味は同じ？ ②自分で説明できる？ ③相手に伝わる？
- 吟味の例：（下書き）Using phone long time is bad for eyes. →（AIの例）Using phones for a long time is bad for our eyes. ／Long screen time can hurt our eyes. →「hurt の意味を確かめてから使う」
- 付箋の整理：賛成／条件付き賛成／反対
- ふり返りの視点：考えは変わった？広がった？ AIの表現を使った理由・使わなかった理由

利用規約を校長・担当教師が確認してリスクを許容できると判断し、規約上必要な場合は保護者の同意を得た、学校管理のサービス。入力内容を学習に使わない設定のものを選ぶ。教師の監督下で使用する）

- 付箋（3色）
- 振り返りシート
- 家庭学習用の録音アプリ（学校の端末に入っているもの）

6 授業後のふり返り

吟味シートを読み、AIの表現をそのまま使った生徒と、理由をもって選んだ・言い直した生徒の様子を把握する。そのまま使った生徒が多い場合は、次時の始めに「自分の言葉で言い直す」場面を設ける。意見交換で多く見られたつまずき（例：理由を一つしか言えない、例が出ない）を整理し、第6時の意見文の書き直しで、理由と例を加える指導につなげる。家庭学習の録音は全員分を聞くのではなく、数人分を抽出して次時の導入で紹介し、友達の意見に応答するよい例として共有する。付箋の意見は写真に撮り、第7時のALTを交えた意見交換と学年への提案づくりの資料にする。

※ この指導案は、次期学習指導要領の告示前に、審議まとめ（2026年10月5日）の方向性をふまえて原田英語.comが作成した試案です。評価規準は現行の3観点で書いています。